



東中学校で開催された東松島市と富士見市のジュニアバレーボールチームの交流試合 (H26.1)



東松島市で交流活動を行う市の市民ボランティア (H23.11)



震災直後の東松島市 (H23.3)



東松島市と富士見市の子どもたちが合唱を披露した「ももクロ春の一大事 2017in 富士見市」(H29.4)



ボランティアバスパックによる瓦礫撤去作業 (H23・5)



東松島市の夏祭りに参加したふわっぴーと東松島市の「イトく・イナちゃん」(H28・8)



復興応援メニューの給食を食べる針ヶ谷小学校の子どもたち (H31.1)

笑顔咲かせる絆の力

- 富士見市の復興支援 -

問合せ/安心安全課 ☎445

1月29日、市内の小中学校では、被災地の郷土料理や食材を使用した給食が提供されました。メニューを考案したのは、平成26年2月に「連携協力に関する包括協定」を締結した女子栄養大学の学生。東日本大震災の被災地である宮城県東松島市周辺の特産品などが盛り込まれたこのメニューには、被災地の一日も早い復興と、子どもたちが震災について知るきっかけにしてほしいとの思いが込められています。

3・11東日本大震災

平成23年3月11日に発生した東日本大震災。マグニチュード9.0、最大震度7を記録したこの地震は、大きな揺れとともに大津波を発生させ、多くの尊い命と財産、平穏な生活を一瞬にして奪っていきました。その被害は震源地に近い東北地方だけでなく、関東地方でも大きな揺れが長時間に渡って続き、建物の損壊や地面の液化化現象、そして福島第一原子力発電所の事故による計画停電や公共交通機関の運行停止など、さまざまな形で生活に影響を及ぼしました。今も、地震や津波、原子力発電所の事故の影響などにより、多くの被災者の方が自らのふるさとに帰ることができていないのが現状です。

後世へ引き継いでいかなければならないもの

震災当日、最大震度5弱を記録した当市では、幸いにも民間施設や公共施設の損壊などの被害は少なく、地震による死亡者の報告はありませんでした。しかし、東武東上線の運行停止や大規模な停電などにより、生活に大きな混乱が生じました。

想定を超える大きな自然災害に対する準備や都市機能への打撃による市民生活への影響など、今後もこの震災をとおして得た経験を過去のものとせず、学んだ

【宮城県東松島市への支援・交流の経過】

平成 23年

東日本大震災発生 (3/11)

被災地域の特産品等購入支援の開始 (～現在)

富士見ふるさと祭りなどのイベントで販売し、収益を寄附

ボランティアバスパック

瓦礫の撤去作業など
4/29・30 参加：市職員
5/13・14 参加：市民・消防団・社会福祉協議会職員・市職員
5/27・28 参加：協議会職員・市職員

手指消毒液 200本贈呈 (4/30)

鍼灸師・マッサージ師による健康サポート支援 (7/27・28)

参加：鍼灸師、マッサージ師、保健師

消防車の寄贈 (9/15)

東松島市子どもの秋祭りに参加 (10/15)

参加：市民ボランティア、市職員

東松島市赤井市民センター・仮設住宅訪問 (11/26)

参加：市民ボランティア、市職員

平成 24年

東松島市小野市民センター訪問 (2/18、6/10)

参加：市民ボランティア、市職員

仮設住宅集会所で歯科衛生等健康支援 (3/4)

参加：歯科医師、歯科衛生士、市職員

東日本大震災追悼・復興応援コンサート (3/11)

場所：鶴瀬コミュニティセンター

被災地との絆をつむぐ「やさしいたわし」プロジェクト開始 (4月～H29年度末)

富士見市社会福祉協議会、市役所本庁舎売店ゆい、ピアザふじみなどで販売

行政事務職員の派遣 (4/1～H25/3/31)

派遣：市職員2人

災害時相互支援協定の締結 (5/14)

場所：富士見市役所

東松島市小野駅前仮設住宅集会所訪問 (11/10)

参加：市民ボランティア、市職員

富士見市防災シンポジウム (11/12)

場所：キラリ☆ふじみ
東松島市の阿部秀保市長(当時)が震災直後の対応や復興対策について講演

平成 25年

3.11を忘れないコンサート (3/10)

前年開催の「東日本大震災追悼・復興応援コンサート」から名称を変えて開催

行政事務職員の派遣 (4/1～H25/9/31)

派遣：市職員1人

がんばっぺ東松島みんなで子ども夏祭りに参加 (7/28)

参加：市民ボランティア、市職員



アクリル毛糸を使い、一つひとつ手編みで作られた「やさしいたわし」



平成 26年

3.11を忘れないコンサート (3/2)

東松島市夏祭りに参加 (8/23)

参加：市民ボランティア、市職員

平成 27年

3.11を忘れないコンサート (3/8)

東松島市夏祭りに参加 (8/22)

参加：市民ボランティア、市職員

市のまちづくり寄附の謝礼品に東松島市特産品を追加 (10月～現在)

平成 28年

3.11を忘れないコンサート (3/6)

東松島市夏祭りに参加 (8/27)

参加：市民ボランティア、市職員

※下表は東松島市への取組みの一部を抜粋したもので、このほかにも地域団体などによる取組みやほかの自治体への支援などが多数行われています。

強い絆に感謝

宮城県東松島市被災者支援鳴瀬サポートセンター
元所長 片岡君江さん

震災から8年が過ぎようとしていますが、地域コミュニティや産業の再生、防潮堤の整備など、復興は遅々として進んでいないのが実情です。そして、なにより大切なのが「心の復興」。被災した方々

は心身ともに疲労しています。私たち東松島市民は、富士見市の方々から物質的な支援とともに、被災者との交流という「心の支援」をたくさんいただきました。被災した方に最も必要なのは、生きる力につながる喜びです。中でも、東日本大震災復興支援ボランティア「えがお富士見」の方々、仮設住宅が無くなってからも交流に来ていただき、たくさん笑顔が生まれました。2つのまちの間で生まれた強い絆に心から感謝しています。

平成 31年

学校給食で復興応援メニュー (1/29)
対象：市内全小中学校

普段なかなか味わえない料理ばかり！とてもおいしくて、みんなで残さず食べられました。東松島市に行ってみたくまりました。これからも復興に向け頑張ってください。

市の給食センターに東松島市の給食センターと情報交換してもらったり、自分たちで東松島市周辺の郷土料理を調べて、献立を考案しました。この給食を食べることで、子どもたちが震災を学ぶきっかけになればと思います。

笹かまの薬味ソースかけ (左)

笹かまほこに衣をつけて揚げ、ねぎを使った薬味ソースをかけたもの

ほうれん草ののり和え (右)

ほうれん草、にんじん、しめじと一緒に東松島市で多く食べられているのりの佃煮で和えたもの

おくずかけ汁 (下)

しいたけだしに、大根、ごぼう、白菜など旬の野菜などを使用

-Information-

第8回3.11を忘れないコンサート

とき／3月10日(日)
午後1時30分(午後1時開場)
場所／鶴瀬コミュニティセンター
出演／

- 渡邊真弓氏(被災木で作ったバイオリン演奏)
- 富士見高校吹奏楽部
- ボーカルグループ加藤企画
- アンサンブルスマイル
- 勝瀬小学校器楽クラブ
- コーラス歌音
- 音楽ボランティアしゃぼん玉

※無料。参加券は各公民館・交流センターで配布(当日券あり)
問合せ／鶴瀬公民館
☎049-251-1140

地域の防災訓練

各町会などを中心に、市内各地で防災訓練が行われています。
3月 は24日(日)午前9時～正午に水谷東地区で前沼公園を会場に開催されます。

平成 29年

3.11を忘れないコンサート (3/11)



ももクロ春の一大事 2017 in 富士見市 (4/8-9)

ももいろクローパーZの公演で東松島市と富士見市の子どもたちが合唱を披露

東松島市夏祭りに参加 (8/26)

参加：市民ボランティア、市職員

平成 30年

3.11を忘れないコンサート (3/11)

東松島市夏祭りに参加 (8/25)

参加：市民ボランティア、市職員



が東松島市の皆さんと交流を重ねました。また、交流支援活動の中で設立された東日本大震災復興支援ボランティア「えがお富士見(現在の後継団体・災害復興ボランティアの会)」は、交流活動とともに、被災者の方々が編んだ「やさしいたわし」の販売をおして、絆を育んできました。被災者の方々は、やさしいたわしを仲間と楽しく作ることで活気づきました。人的支援や経済的支援だけでは生み出すことが難しい「笑顔」が、市民の皆さんのボランティア活動による交流支援の中で多く生まれたのです。東日本大震災以降も多くの災害に見舞われている日本。ひとが苦境に立った時、大事なものは「絆」です。一人ひとりが「誰かの役に立ちたい」と思うことがひとつひとつの絆を強くし、笑顔や喜びにつながるのです。震災発生から8年。当時を振り返るとともに、今一度絆の大切さについて考えてみませんか。